

# ひょうごかぞくねっと

兵庫県知的障害者施設家族会連合会

第55号

『ポーっと生きてんじゃねえーよ！ 今でしょ！ 人生は途中が終点』

NPO 法人成年後見こうべきずな(知的障害を持つ人を対象にした団体)前理事長  
かぞくねっと理事・恵泉寮家族会長 高野 國昭

先日、神戸市兵庫区平野の駐車場のフェンスに表題の言葉の看板が掲げられているのを発見しました。テレビで話題になっている「チコちゃんに叱られる」と結びつけた言葉です。

人生で一番確実なことは死ぬ時がいつか来るという事です。でも、死があまりにも厳しい現実であるため、直視せずに生きているのではないかと思います。「死は私たちの人生の途中で突然来るので、今しなければならぬ事をするように」と表題の言葉は人々に訴えているのだと思います。

私は、一日が一生であるとの思いで、精一杯生き、死への備えをしてゆきたいと思いますが、なかなか難しくそのような生活はできないでいます。確実に生きていける日は一日一日と減少してきているのに、情けないことです。

ご家族の皆さんとお話をすると、「子どもよりも1日でも長く生き、子どもの最後を見届けて死にたい」と、話される方が多くおられます。そのお気持ちは痛いほど分かります。しかし、現実はそのようにはいかない事が多いです。私たちが立ち上げた「NPO 法人・成年後見こうべきずな」は12年目の歩みをしています。この間に被後見人(ご本人)のご家族で亡くなられた方が10名をこえました。

ご本人が喪主になって、私たちの法人で親御さんの葬儀をさせていただいたケースもあります。ご遺骨をしばらく私たちの事務所で預かりし、納骨もさせていただいた事もありました。亡くなられた親の遺産の相続をご本人が受け取るようになりますが、ご本人が一生かかっても使いきれないほどの高額であることもあります。ご本人が亡くなられたら、多額の財産を国庫にお渡しする事になるケースもあります。

昨年度のひょうごかぞくねっとの中央研修会で、こどものためにどのように財産を残すかについて、講師の方から学ぶことができました。私は講師の方も勧めておられたように、「障害者扶養共済」への加入をお勧めしたいです。本人のご家族が亡くなられたときに、年金と同じように毎月お金が給付される制度です。一口入れれば、毎月2万円が給付されます。私が会長をしている恵泉寮の家族会では障害者扶養共済のパンフレットを取り寄せて、配布しました。

大切な子どもさんの将来のために、お金を残さなくては安心できないと考えておられる方が多いと思いますが、私はお金を残すよりも、手前みそになりますが本当に頼りになるのは、成年後見人を付けることだと思います。親族で後見人を引き受けてくださる方があれば、その方をお願いする。親族の方が無理なら、第三者をお願いすることになります。

成年後見人は、ご本人が一生安心して生活ができるように、財産の管理をすると同時に、ご本人の意思を大切にしながら、今ある制度や地域資源を有効に活用してより良い生活ができるようにして行きます。親亡き後の安心は「成年後見制度」だと思います。

私たちの法人では、12年の間、ご本人で亡くなられた方が4人おられます。いずれの方も成年後見人がいて良かった。もしいなかったらお葬式などできなかったのではないかと。と思います。

成年後見の申し立ては、四親等内の親族となっています。申し立てる親族がいなくなると、成年後見人の申し立てが困難になってしまった残念なケースがありました。

子どもさんの将来のために、今ある資源や、情報を集めて積極的に前に向かって進めていただきたいと思います。

「人生は途中が終点です。いつまでも生きられませんが」今でしょ」と私は皆さんに訴えたいです。チコちゃんに叱られないように生きてゆきましょう。

【事務局】〒650-0016 神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市立総合福祉センター2F 2023年10月10日発行第55号

電話 078(371)3930 FAX078(371)3931 Email: hyogokazokunet@gmail.com 表紙題字/沼野 聡美氏

発行人/兵庫県知的障害者施設家族会連合会(ひょうごかぞくねっと) 編集人/広報委員会

URL: <http://h-kazoku.ivory.ne.jp/>

## 2022年度事業報告・決算報告/2023年度事業計画・会計予算

2023年度評議員会は、6月28日(水)10:30~12:00あすてっぷKOBEとオンラインで開催致しました。すべての議題において承認されました。会場・オンラインでご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。また貴重なご意見をありがとうございました。

- 議題**
- 第1号議案 2022年度事業報告について
  - 第2号議案 2022年度会計決算報告について
  - 第3号議案 役員改選について
  - 第4号議案 規約細則の改正について
  - 第5号議案 2023年度事業計画(案)について
  - 第6号議案 2023年度会計予算(案)について
  - 第7号議案 慶弔規定設定について



## 2022年度会計決算報告

2022.4.1~2023.3.31 (円)

## 1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,492,400
寄付金・保険手数料	393,324
雑収入	1,398
負担金(全施連から給与手当他)	640,000
前年度繰越金	5,264,173
<b>合計</b>	<b>10,791,295</b>

## 2. 支出の部

会議費・旅費	70,778
印刷費	67,760
通信運搬費	242,692
研修費	803,770
事務消耗品費	269,450
減価償却費	56,987
負担・分担・渉外費	215,110
給与手当(全施連給与手当含む)	1,724,400
法定福利費・福利厚生費	408,278
雑費	990
新聞図書費	6,600
<b>小計</b>	<b>3,866,815</b>
次期繰越金	6,924,480
<b>合計</b>	<b>10,791,295</b>

## 2023年度会計予算

2023.4.1~2024.3.31 (円)

## 1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,402,000
寄付金・保険手数料	350,000
雑収入	3,000
負担金(全施連から給与手当他)	1,230,000
前年度繰越金	6,924,480
<b>合計</b>	<b>12,909,480</b>

## 2. 支出の部

会議費・旅費	170,000
印刷費	120,000
通信運搬費	360,000
研修費	1,000,000
事務消耗品費	350,000
減価償却費	56,986
負担・分担・渉外費	481,000
給与手当(全施連給与手当含む)	2,600,000
法定福利費・福利厚生費	640,000
雑費	10,000
新聞図書費	6,600
予備費	150,000
<b>小計</b>	<b>5,944,586</b>
特別活動積立金	3,000,000
次期繰越金	3,964,894
<b>合計</b>	<b>12,909,480</b>

## ■2023 年度活動計画

### 1. 行政機関への陳情と意見交換

「ひょうごかぞくねっと」として県知事・政党へ団体要望を提出していくと共に、行政・議員との意見交換に努めます。

#### A. 新型コロナウイルス感染拡大や災害における対応

新型コロナウイルスが5類に移行したことにより施設における新型コロナウイルス感染への対応を模索し、感染防止対策を兵庫県知的障害者施設協会と協議・連携し、行政に要望していきます。

また、いつ発生してもおかしくない東南海地震に備え、福祉避難所の充実と通所等利用者家族が直接避難できる体制づくりを要望していきます。

#### B. 24 時間一貫した快適な入所施設の新設の請願の継続

「終の住処づくり」として、親亡き後安心して託すことのできる施設(例えば医療機関と連携・提携している施設等)を実現するため、請願活動を続けていきます。

### 2. 組織の強化

ひょうごかぞくねっとの原点に立ち返り、組織の強化を図ります。

- ・近年、家族会員の高齢化による家族会解散を理由に退会が散見するようになった。具体的に退会を撤回できる方法を模索し、会員数の減少を防ぐ。
- ・ひょうごかぞくねっとの活動についてわかる資料を作り、要覧と共に各施設家族会に配布し、説明する。
- ・各施設家族会、各地区かぞくねっとの活動の様子を発信できるようにする。
- ・各施設の家族会や家族の持つ困り事や問題点に丁寧に対応していき、かぞくねっとの存在感を訴える。
- ・組織の基盤強化のために、各地区の課題に取り組む。
- ・グループホーム移行者家族が母体施設家族会から離脱することのないように訴えていく。

### 3. 活動力強化の研修会

研修を通じて共通理解を深め、共に活動していきます。

- ・知的障害者施設の利用者の福祉の向上を図り、その豊かな生活と権利を護る研修会を開催する。具体的には今、一番の心配事である物価高騰への対応について情報収集し、その対応について検討する。
- ・親はもちろんの事、障がいをもつ子らの高齢化に対応するための制度や仕組みを考える研修会を開催する。
- ・兄弟姉妹を対象とした研修会(障害者制度を理解する

ための研修会)

- ・家族会内部問題検討会を開催し、各家族会の問題解決に取り組む
- ・グループホーム移行者家族が母体施設家族会から離脱することのないように訴えていく

### 4. 友誼団体との連携強化

障害福祉の向上を願う知的障害者団体との連携を強めることが大切です。

- 《具体案》 ①福祉7団体の会の主催団体として積極的に取り組む ⇒冬頃に開催する予定
- ②兵庫県知的障害者施設協会との意見交換、話し合いを行う
- ③手をつなぐ育成会をはじめ各種団体の活動に後援団体として協力する

## ■各地区かぞくねっと活動計画

【阪神】 昨年度もコロナ禍で地区活動ができない中で高齢化も進む中、なかなかオンライン活動も無理な状態なので全く動いておりません。ウィズコロナも考慮しつつ延期になっている研修会を今年度は是非実現したいと思っています。

研修会:「障がいの者の医療ケアをどうするのか?」

医療ケアが必要な時、知的障がい者施設には医療がない中、今のところで環境を変えないで生活するにはどうしたら良いのか? 医療機関との連携や行政への働きかけをどのようにしたらよいかを講演していただきます。

【こうべ】 3年後のこうべかぞくねっと構想 3年目の行動計画を実施します。HPのリニューアルと架け橋に親の思いと支援者の思いを集め発信力を高めます。

1. HP 架け橋掲載 年12回
2. 理事会 年4回
3. 三役会 年1回
4. 会長会(評議員会) 年1回
5. 研修会 年1回
6. HPの見直し 随時
7. 主催・共催 年1回 ジョイフルコンサート・こうべ障がい者芸術フェスタ・こころのアート展
8. 神戸市福祉局 神戸市社会福祉協議会 神戸市知的障害者施設連盟 家族会 友誼団体との関係強化 随時

【東・北播磨・淡路】 コロナ感染拡大の中で、活動がストップの3年間でした。その後の状況をみながら、会長会・研修会を進めていきます。早く収束を願っています。

- ・理事会 3回
- ・会長会 2回
- ・研修会 延期になっている「齋藤施設長の研修」調整

【西中播磨】 新型コロナウイルスの、その扱いが政府から5月以降5類に移行し、制限緩和された中にありますが、いまだ終息をみせないコロナ禍の動向に注視しながら、例年同

様予定している活動を順応に対応前進させたい。

理事会開催 7月、9月、2月

会長会開催 7月、9月、2月

ブロック研修会(保護者会赤穂精華園担当)

【但馬・丹波】11/18 に理事・会長会の会議を開催する事にしており、今後の取組みについても活動計画を再度検討する事に致しております。会場確保が難しく研修会も未定となっております。

理事・会長会:5/27、8/26、11/18、1/28、3/25

施設見学:当分延期

浜坂親子一泊旅行:未定

## ■2023・2024 年度役員

役 職	氏 名
会長	山口 英治
副会長	三浦 雅春
副会長	吉岡 京子
副会長	寺澤 節子
副会長	野口 雄二
副会長	木村 政照
理 事	松端 信茂
理 事	高野 國昭
理 事	荻田 藍子
理 事 阪神	小山 京子
理 事 阪神	田中 佳子
理 事 神戸	小野寺 良三
理 事 神戸	川村 幸子
理 事 神戸	出来 竝江
理 事 東北播磨	武市 君江
理 事 東北播磨	中右 厚子
理 事 西中播磨	上田 茂
理 事 西中播磨	松田 文一
理 事 西中播磨	中本 津知宏
理 事 但馬丹波	高林 恵子
理 事 但馬丹波	佐山 忠行
監 事	岩本 四十二
監 事	久保田 忠幸
顧 問	堺 孰
顧 問	木村 三規子

## 〈退任〉

下山 義裕様(理事・学識経験者)

笹川 かほる様(理事・阪神)

呉 珀華様(理事・こうべ)

今井 サチ子様(理事・東北播磨)

退任される下山様、笹川様、呉様、今井様、長きに渡り、ひょうごかぞくねっとにご尽力賜り、感謝申し上げます。

## アンケートのお礼と今後について

評議委員会前に、各家族会長様へアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。

質問は大きく 3 つ。ひとつは災害に備えて、施設の防災対策と、住まいの近くの福祉避難所の確認のお願い。

もうひとつは、物価高騰に係る費用負担などの実態を聞いたもの。これは、要望書にして各市町に提出します。

3 つ目はかぞくねっとに、対する要望でした。たくさんのご要望をいただきました。真摯に受け止めひとつずつ考えてまいります。まずは家族会大会でできるだけ多くの方々お知恵を拝借したいと企画しております。

## ■委員会

委員会名	内容	担当
行政対策委員会	・請願活動 ・行政への陳情と意見交換の企画・提案	木村副会長
総務委員会	・評議員会議案、理事会議案書案作成	寺澤副会長
広報委員会	・機関紙内容企画・提案 ・発送作業(発行 8 月、3 月発行予定)	吉岡副会長
研修委員会	・中央研修会・家族会大会(意見交換会)・研修会の企画、提案	野口副会長
組織委員会	・組織拡大の具体案計画・実行 ・賛助会員の勧誘	三浦副会長

## ■2023 年度活動表

月	日	行事	内容	場所
4	25	第1回正副会長会	2023年度の活動方針	事務所
4	26	会計監査	2022年度会計監査	事務所
5	9	第2回正副会長会	2022年度事業・会計報告 2023年度事業計画・予算案	事務所
5	26	第1回理事会	2022年度事業・会計報告 2023年度事業計画・予算案	福祉センター・オンライン
6	28	評議員会	ひょうごかぞくねっと総会	アステックこうべ
※6	30	全施連社員総会	総会・年間計画	書面開催
8	31	第3回正副会長会	2023年度活動について	事務所
9	27	第2回理事会	2023年度活動について 家族会大会・中央研修会の骨子について	福祉センター
9			たより55号発行	
11	中旬	第4回正副会長会	家族会大会・中央研修会について	事務所
12	13	家族会大会	分科会方式	福祉センター
1	中旬	第5回正副会長会	中央研修会・理事研修・2023年度の事業まとめと2024年度に向けての構想	事務所
2	初旬	中央研修会	親亡き後の希望の生活を求めて	未定
3	初旬	第3回理事会・理事研修	2023年度の事業まとめと2024年度に向けての構想	福祉センター
3	下旬		たより56号発行	

※全施連活動(全施連全国大会は中止。)  
福祉の集いは2月の開催を予定しています。

〈編集後記〉新型コロナウイルス感染発生して3年余り、ひょうごかぞくねっとは研修会など出来ない日々が続き、その間にも色々問題点が浮上しています。コロナウイルスも5類へ移行し、以前の活気に満ちた会に、みな様と共に我が子供たちの住みやすい将来のために頑張ってください。 (Y・K)